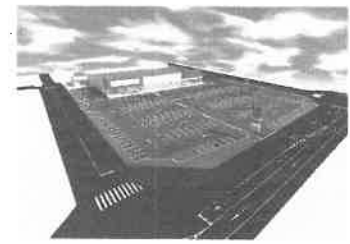


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フレッシュバザール亀岡千代	階数	地上1F
建設地	京都府亀岡市千代川町小林北ン田	構造	S造
用途地域	準工業・第一種住居地域、指定なし	平均居住人員	2,300 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,840 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年10月2日
敷地面積	8,787 m ²	作成者	㈱日匠設計
建築面積	2,508 m ²	確認日	2020年10月5日
延床面積	2,491 m ²	確認者	㈱日匠設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 71%</p> <p>③上記+②以外の 71%</p> <p>④上記+ 71%</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.2</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>交通量の多い道路に面する為、遮音対策に配慮し、快適性に重視した設計とした。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部に接する壁、屋根は断熱材を設置し、断熱性能の向上に努めた。 施設内禁煙とし、空気室環境に配慮した。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 売場の天井高を3.5mとし、利用者の快適性を高めた。 耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図った。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の形状や色彩について周辺環境に配慮した計画とした。 敷地内及び一部の外壁に緑地スペースを計画した。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備機器では省エネルギー性の高い機器を選定した。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動水栓、節水型の便器を採用し水資源の保護に努めた。 大気汚染源の少ない燃焼器具を採用した。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者の利便性を高めるため、大店立地法に基づき敷地内に適量の駐輪場と駐車場を計画した。また、車両出入口を3か所設置し、周辺の交通負荷抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される